



Q

安全・安心な鶴ヶ島の形成を



出雲敏太郎 議員

A

啓発活動を行い、地域等と連携していく

市民が安心して暮らせるより安全な鶴ヶ島形成のために質問する。

質問一 市内における犯罪や事案の発生状況は。

二 子どもを被害者とする犯罪防止の取り組みについて。

三 女性を被害者とする犯罪防止の取り組みについて。

四 高齢者を被害者とする犯罪防止の取り組みについて。

五 サイバー犯罪、ネットトラブルから市民を守る取り組みは。

六 地域で防犯を担う人材育成は。

答弁一（市長） 平成25年は、16年と比べて半減の755件である。

二（教育委員長） 発生した犯罪等の情報をファックス等で伝え、情報を共有している。登下校時には、学校、家庭、地域が連携して対応している。

三（市長） 女性への犯罪の73・2割が窃盗。注意喚起の啓発活動を行い、防犯灯も設置している。

四 高齢者も窃盗の被害が多いが、振り込め詐欺等の被害金額も大きい。啓発活動に努めている。

五 インターネットの普及に伴い、警察署や消費生活相談への相談件数が増えている。防犯意識の啓発などを行っている。

六 市民青色防犯パトロール隊を中心に防犯パトロールの注意点などの講習会を開催している。



Lアラート（災害情報共有システム）・・・災害情報に関する公的情報を集約して放送事業者、新聞社、通信業者等の情報発信者と共有し、地域の住民に迅速に届けるローカル緊急警報システム。

Q

Lアラートの導入について

五伝木隆幸 議員



A

県と連携し導入を進めていく

質問一 災害情報発信及び伝達の現状と課題は。

二 埼玉県の防災情報システムとの連携は。

三 Lアラートに関する国、県やメディア等からの働きかけは。

四 Lアラート導入に対する市の見解は。

答弁一（市長） 迅速かつ正確な

情報伝達には、防災行政無線が有効な手段である。しかし、屋内では聞き取りにくいとの指摘があり、防災ラジオを給付している。インターネット等も活用し、状況に応じた確実な情報伝達に努めている。

二 埼玉県防災情報システムには、

警報発表情報などを迅速にメールで配信する機能があり、多くの市民に埼玉県防災情報メールサービスを登録していただけるよう啓発していく。

三 ヤフー株式会社からLアラートを利用した災害協定の話がきており、避難所マップや避難情報の配信などの連携が図れることから協定締結に向けて準備を進めている。

四 県では、平成27年度末に災害オペレーション支援システムを介してLアラートと連携を行う予定である。このシステムの稼働の際には、本市においても効果的な運用を行っていきたいと考えている。